



湊川短期大学「湊川短大入学式」

湊川短期大学の入学式が4月5日挙行されました。189名の新入学生たちがこれから社会人になるための教養を身に付け、専門的な教育を受けるわけです。入学式より約1ヶ月が過ぎた新入生に対して末本学長より「新緑の美しい季節になりました。周りからかえるの鳴く声も聞こえてきます。連休明け、学生さんたちもいよいよ大学での生活に力を入れてくれることと思います。体調の管理をしながら、夏に向けて、元気を出して進んでいきましょう。」というメッセージをいただきました。



三田松聖高等学校「熊本地震募金活動」

松聖高校のインターアクトクラブの7人が4月24日、熊本地震義捐金募金をパスカル三田で呼びかけました。今回の地震で校舎が半壊した熊本市の鎮西高校の同クラブに送金し授業再開に役立ててもらいたいと買い物客など協力をお願いしました。地域ボランティアとしての素早い行動が神戸新聞にも取りあげられましたので、ご紹介します。ちなみに募金額は4月24日分159,680円、5月1日分113,120円合計272,800円でした。

三田松聖高等学校「オリエンテーション」

4月19日から21日まで、京丹波町の丹波自然運動公園で1学年のオリエンテーション合宿が行われました。目的は高校生としての自覚を深め、集団生活を通して教師や生徒間の信頼・親睦を深めるためのもので、これからの高校生活を真剣に考える場所として意義深いものです。第1班は1組から5組まで196名、第2班は6組から11組まで235名と二班に分かれて実施されましたが、これが終わると出発前に比べ1年生全体が引き締まり、成長した様子が感じられました。担当された教職員の皆様お疲れ様でした。



熊本地震 被災地の高校支援を

三田松聖高校生 寄付呼び掛け

熊本地震の被災地を人が所属。2009年、募金活動を企画し支援しようと、三田松聖高校インターアクトクラブの7人が24日、熊本市の鎮西高校に送金し授業再開のめどが立っていない。この日の募金活動は約2時間に及び、部員は買い物客らに大きな声で呼び掛けた。板東部長は「被災地で頑張る同じ高校生を元気づけるため、支援活動を広げていきたい」と話した。

地域でボランティア活動をする三田松聖の同クラブには、現在16高校に送金することを決

三田松聖高校の被災地支援を呼び掛ける三田松聖高校インターアクトクラブの部員たち（村上寛宏）



(平成 28年 4月 25日 神戸新聞)

みなとがわ人物紹介



短大附属「認定こども園」
北摂中央幼稚園
山下 栄先生

今年の4月より短大附属北摂中央幼稚園（原口富美子園長）であいあいルーム（幼児教室）担当の保育士として勤務されています。大阪市出身・夙川短期大学児童教育科卒業後大阪で幼児教育に携わってこられた経験者です。「2～3歳の保護者と園児または園児のみのお預かりとなるのですが、それぞれ個人差のある成長を見極めながらの保育となりますので、柔軟な対応力が必要だと感じています。」とのこと。お花や野菜のガーデニングがご趣味で、大学生お二人、高校生お一人の母親でもあり、子育て経験のある頼もしい先生でした。



短大附属「認定こども園」
北摂中央幼稚園
川野 千里先生

神戸出身、聖和短期大学保育学科卒業。今年4月より短大附属北摂中央幼稚園（原口富美子園長）勤務の20歳。「子どもたちに対してまず安全を優先し、子どもたちの自由な発想を大切にできればと考えています。当初たくさんの園児たちにとまどいましたが、だんだんひとりひとりに目が届くようになりました。また、園児たちとの話題作りに様々な本を読むように努力しています。」という明るく元気な先生です。また、将来は最低2人の子どもに囲まれた生活を望んでいますが、それにはまず結婚相手を見つけたいと・・・というクッキーなどお菓子作りがご趣味の家庭的な先生です。